

感染症についてのお知らせ



つながる
墨田区

墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所3階
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和3年
12月号

東京都内の感染症流行情報

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が増加しています。
手足口病が例年よりも多く発生しています。

墨田区内の感染症流行情報

感染性胃腸炎の発生がみられています。例年、冬に発生のピークを迎えるためこれからが本番です。集団感染の発生もしていますので、感染対策についてご注意願います。特に、保育所、学校、高齢者施設においては集団感染が発生した場合は保健所へ相談・報告してください。

感染症のお知らせ

HIV感染症・後天性免疫不全症候群(エイズ)について

< HIV 感染症・後天性免疫不全症候群(エイズ)とは >

HIV とはヒト免疫不全ウイルスのことで、HIV に感染した状態を HIV 感染症といいます。HIV に感染すると体の中の免疫の仕組みが徐々に壊されていき、本来なら自分の力で抑えることができる病気を発症するようになります。この状態を後天性免疫不全症候群(エイズ)といいます。

< 感染経路 >

HIV は、主に性行為により感染します。HIV は血液や精液、膣分泌液に多く含まれているため、性行為中に性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通して感染します。コンドームの正しい使用は、HIV 感染を予防する非常に有効な手段です。

< 症状 >

感染から数週間以内に風邪に似た症状が出ることがありますが、その後何年も無症状で自覚症状がないまま経過します。その間免疫力が低下し、本来自分の力で抑えることのできる感染症(日和見感染症)や腫瘍(日和見腫瘍)を発症するようになります。

< 治療 >

HIV 感染症の治療薬・治療法は飛躍的に進歩しており、エイズの発症を予防したり遅らせたりすることができるようになりました。HIV の感染が判ったら、すぐに医療機関を受診して治療を受けることが大切です。



<検査について>

墨田区では月 1 回、無料・匿名による検査を行っています。詳細は、墨田区保健所保健予防課（電話番号：03-5 6 0 8 - 6 1 9 1）にお問い合わせ下さい。

HIV 検査は墨田区以外の各自治体でも実施しています。全国の HIV/エイズの検査・相談窓口の情報は、「HIV 検査・相談マップ」で希望の場所を検索できます。

<http://www.hivkensa.com/>

手足口病について

<手足口病とは>

手足口病は、口の中や手足などに水泡性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。子どもを中心に、例年夏頃に流行します。今年は秋ごろから冬にかけて流行がみられています。

<原因と感染経路>

コクサッキー A 群ウイルスとエンテロウイルス 71 型が主な原因となります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染します(飛沫感染)。また、水泡の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口や眼などの粘膜に入って感染します(経口・接触感染)。

<症状>

3～5 日の潜伏期間の後、口の中、手のひら、足の甲や裏などに 2～3mm の水泡性の発しんが出ます。発熱は約 3 分の 1 にみられますが、高熱になることはあまりありません。一般的に軽症で、発しんは 3～7 日で痂皮(かさぶた)を残さずに消失します。重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があげられます。

<治療>

特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法が行われます。

口の中に水泡ができ食事がとり難いため、柔らかく薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけることが大切です。頭痛やおう吐、発熱が続く場合は主治医に相談しましょう。

<予防のポイント>

予防接種はありません。予防には、手洗い、うがい、咳エチケットが有効です。

発しんが消えた後も、3～4 週間は便にウイルスが排泄されるため、おむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオルの共用を避けましょう。

<登校(園)の目安>

本人の全身状態が安定している場合は登校(園)が可能です。感染拡大を防止するために登校(園)を控えることは有効性が低く、またウイルス排出期間が長いことから現実的ではありません。発熱やのどの痛み、下痢が見られる場合や食べ物が食べられない場合には登校(園)を控えてもらい、本人の全身状態が安定してから登校(園)を再開してもらいます。登校(園)後は、排便後やオムツ交換後の手洗いを徹底します。

このお知らせは、東京都感染症情報センター (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>) の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」(<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>)、厚生労働省検疫所 FORTH の「海外へ渡航される皆様へ！」(<https://www.forth.go.jp/index.html>)を基に作成しています。